

令和3年産

大豆情報 (Vol.1)

令和3年7月28日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612 Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからも！



6月以降の気象経過

<6月> 高温・多照, 降水量は少ない

日平均気温は平年より+1.4℃高く, 日照時間は平年比125%と多く, 降水量は平年比74%と少なくなりました。

<7月> 日照時間が多い

上旬の日平均気温は平年並, 日照時間は平年比29%と少なく, 降水量は平年比181%と非常に多くなりました。

中旬の日平均気温は平年より+2.0℃高く, 日照時間は平年比175%とかなり多く, 降水量は平年比2%と非常に少なくなりました。

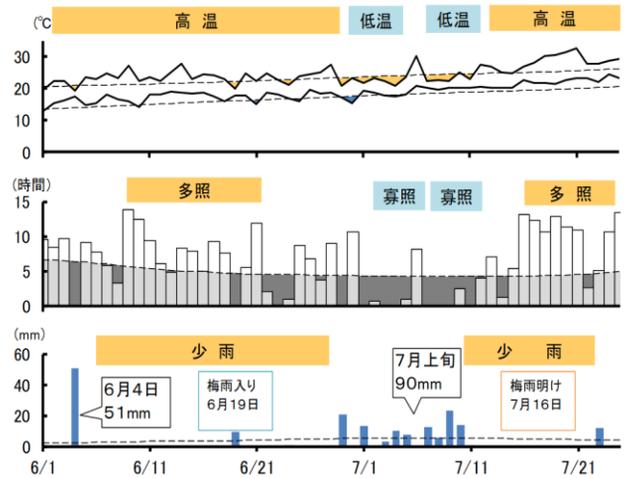


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温, 中: 日照時間, 下: 降水量
※点線は平年値

調査ほの生育状況(7/26)

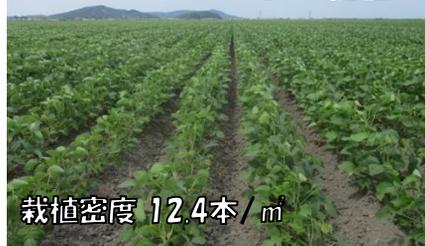
適期播種したほ場は高温により生育量が大きい傾向

タンレイ(水沼) 6/10播種



栽植密度 16.6本/m²

ミヤギシロメ(小船越) 6/9播種



栽植密度 12.4本/m²

タチナガハ(蛇田) 6/1播種



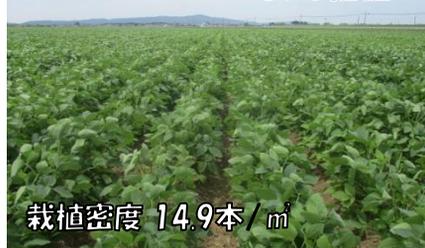
栽植密度 12.7本/m²

タンレイ(広瀬) 6/11播種



栽植密度 14.9本/m²

ミヤギシロメ(牛田) 6/7播種



栽植密度 14.9本/m²

◆タンレイ：2ほ場とも播種時期は平年より早く、主茎長は平年を上回り、主茎節数は平年並、分枝数については平年並から平年をやや下回っています。

◆タチナガハ：播種時期は平年より早く、主茎長、主茎節数は平年を上回り、分枝数は平年並です。

◆ミヤギシロメ：2ほ場とも播種時期は平年より早く、主茎長、主茎節数は平年を上回り、分枝数は平年並です。

表1 調査ほの7月26日調査結果

品 種 (作型)	地点名 (旧市町)	播種日(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
タンレイ (普通)	広淵 (河南)	6/11	+3	-4	38.8	-8.0	+5.7	9.3	-0.9	+0.6	1.4	+1.0	+0.6
タンレイ (麦あと)	水沼 (石巻)	6/10	-3	-3	50.5	+9.1	+18.4	9.3	+0.5	+0.9	0.5	-1.0	-0.5
タチナガハ (麦あと)	蛇田 (石巻)	6/01	-18	-15	47.3	+21.1	+19.4	11.8	+4.8	+3.9	0.9	+0.9	+0.5
ミヤギシロメ (麦あと)	小船越 (河北)	6/09	+4	-13	49.3	+8.0	+22.4	9.8	+0.5	+2.8	0.7	-0.3	+0.2
ミヤギシロメ (麦あと)	牛田 (桃生)	6/07	-9	-15	49.4	+14.6	+22.8	9.5	+2.4	+2.9	0.5	0	+0.2

※1 平年値：H28～R2の5か年平均

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す。

今後の管理

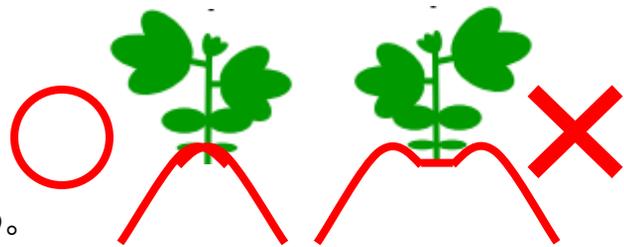
◆中耕・培土

◎ **開花期の10日前まで**に終わるようにしましょう。

必ずほ場の状況を確認してから実施しましょう。

◎ 生育量が小さいほ場や排水不良のほ場、麦あと晩播になるほど、標播より作業可能期間が短くなるので、遅れないよう適期に作業しましょう。

※ 中耕・培土が遅すぎると、根の切断や花、莢に損傷を生じるだけでなく、分枝が機械に絡まることによって倒伏を助長するなど、減収につながる場合があります。



◆追肥

◎ 湿害等により葉色が著しく淡い場合や生育不良の場合には、硫安などの速効性肥料で生育回復を図りましょう。施用量は**窒素成分で3kg/10a程度**が目安です。

※ 窒素過多は根粒菌の活性を低下させるので注意しましょう。

◎ 大豆は開花期以降多量の窒素を必要とするので、最終培土時に緩効性肥料(LP40)を現物で12kg/10a程度施用しましょう。なお、地力が高いほ場では追肥の効果が低い傾向がありますので、追肥の実施はほ場条件を考慮して決定しましょう。

※ ミヤギシロメでは蔓化・倒伏を助長する場合がありますので、注意しましょう。

◆病害虫対策（ほ場ごとの生育ステージに合わせた適期防除を！）

タンレイ：紫斑病防除を最優先

ミヤギシロメとタチナガハ：マメシンクイガなどの子実害虫防除を優先

◎ 紫斑病

降雨が多く、収穫時期の気温が高いと発生が多くなります。特にタンレイで多発しやすいので、**タンレイでは開花期後20～40日に2回防除**しましょう（同一剤の使用は避ける）。

<ポイント> 開花期を確認しましょう！

紫斑病対策には適期の薬剤散布が重要なので、**開花期を確認して防除日を決める必要があります。**

大豆の開花期は、「**1つでも開花の見られた株が全株の4～5割に達した日**」です。開花は、ほ場の外からでは判断しにくいので、必ずほ場の中に入って観察し、正確に判断しましょう。

タチナガハほ場では、開花期を迎えていました。



表2 調査ほの播種日と開花期

品種(作型) 地点名(旧市町)		播種日 (月日)	開花期 (月日)
タンレイ (普通) 広淵(河南)	本年	6/11	未達
	前年	6/8	8/2
	平年	6/14	8/4
タンレイ (麦あと) 水沼(石巻)	本年	6/10	未達
	前年	6/13	7/29
	平年	6/13	8/1
タチナガハ (麦あと) 蛇田(石巻)	本年	6/1	7/26
	前年	6/19	8/8
	平年	6/15	8/4
ミヤギシロメ (麦あと) 小船越(河北)	本年	6/9	未達
	前年	6/5	8/9
	平年	6/21	8/12
ミヤギシロメ (麦あと) 牛田(桃生)	本年	6/7	未達
	前年	6/16	8/14
	平年	6/21	8/13

◎ 子実害虫(マメシンクイガ、フタスジヒメハムシ、ダイズサヤムシガ、カメムシ等)

☆マメシンクイガ

連作ほ場で多発します。**8月末～9月はじめに1回目の防除**、その7～10日後に2回目の防除を行きましょう。

※マメシンクイガは日長に反応して休眠覚醒するため、**発生時期の年次変動は少ない**のが特徴です。

☆フタスジヒメハムシ

生育初期の葉の食害に加え、若莢の表面を食害し、そこから雑菌が侵入して汚粒の原因となります。第2世代成虫の発生盛期(8月下旬～9月上旬)に防除を行きましょう。

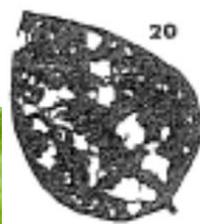
☆ダイズサヤムシガ

若齢幼虫が**大豆の生長点付近の葉をすり合わせて食害しているとき(右写真)に防除**しましょう。



◎ **食葉性害虫**(**チョウ目幼虫:ツメクサガ, ウコン/メイガ, オオタバコガ, コガネムシ類**)

開花期後(特に莢伸長期~子実肥大期)に食害を受けると減収
 することがあるので、**食害葉面積率20%(右写真)を目安に防除**しましょう。



◎ **アブラムシ類**

モザイク病や萎縮病といったウイルス病を媒介し、
 多発すると早期落葉して収量・品質が低下します。

発生のピークは、8月下旬から9月上旬ですが、
葉の黄化・褐変症状が見られたら(写真右)葉の裏を確認し、発生が多いときには薬剤が葉の裏までかかるよう、丁寧に防除を行いましょ

う。また、モザイク・萎縮の見られる株は抜き取ります。



◆ **湿害対策**

◎ **大雨のあとや、降雨が続く際はほ場を見回り、排水が保たれているか確認**しましょう。

排水溝は詰まっていないか



明渠に停滞水が溜まっていないか



◆ **乾燥対策**

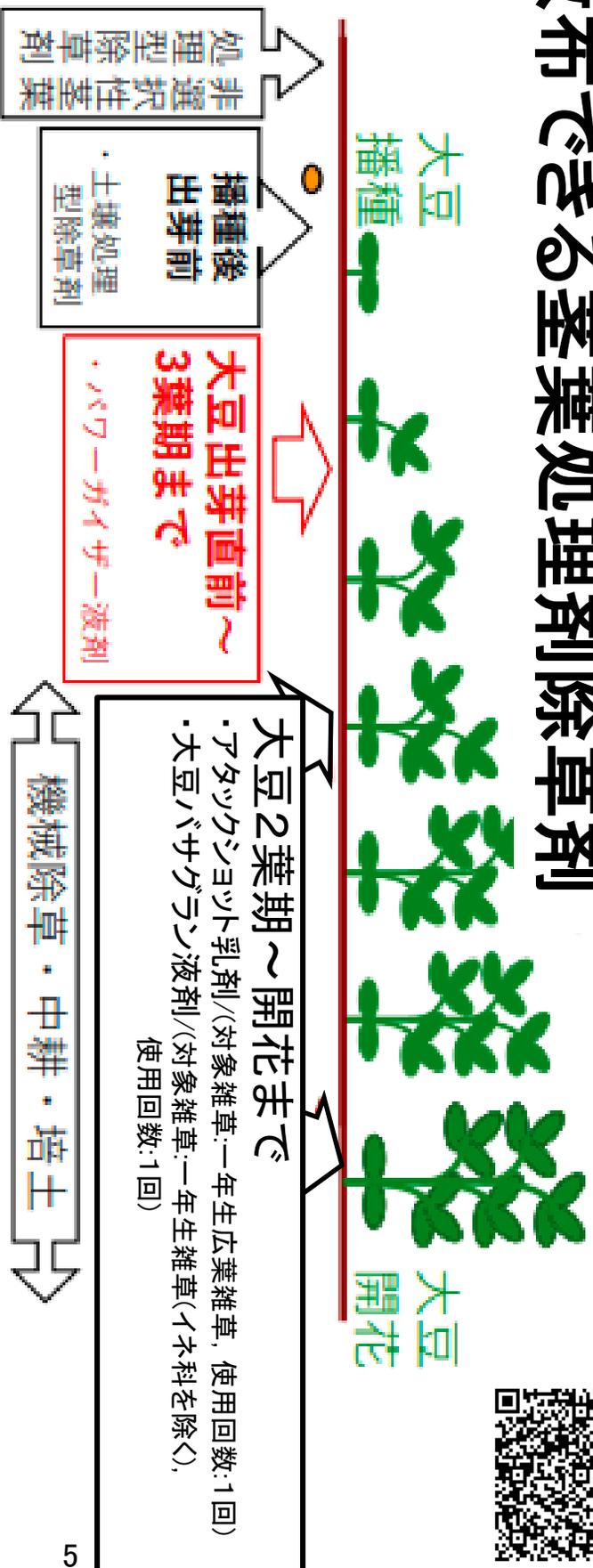
◎ 大豆は開花期以降、多量の水を必要とし、不足すると落花・落莢により減収するので、晴天が7日以上続き、土壌が白く乾燥し、日中の葉の半分以上が反転している場合には、暗きよを閉じて水分保持(地下かんがい)するなどの対策が有効です。

◎ 畝間かん水が可能な場合は実施しましょう。

畝間かん水の注意点

- ①必ず夕方~朝方にする(日中は絶対にダメ!)
- ②過湿にならないようにする

全面散布できる茎葉処理剤除草剤



○パワージェー液剤

2020年12月現在

大豆の出芽直前〜3葉期まで(雑草の発生始期〜2葉期)に200〜300mL / 10aで使用できます。

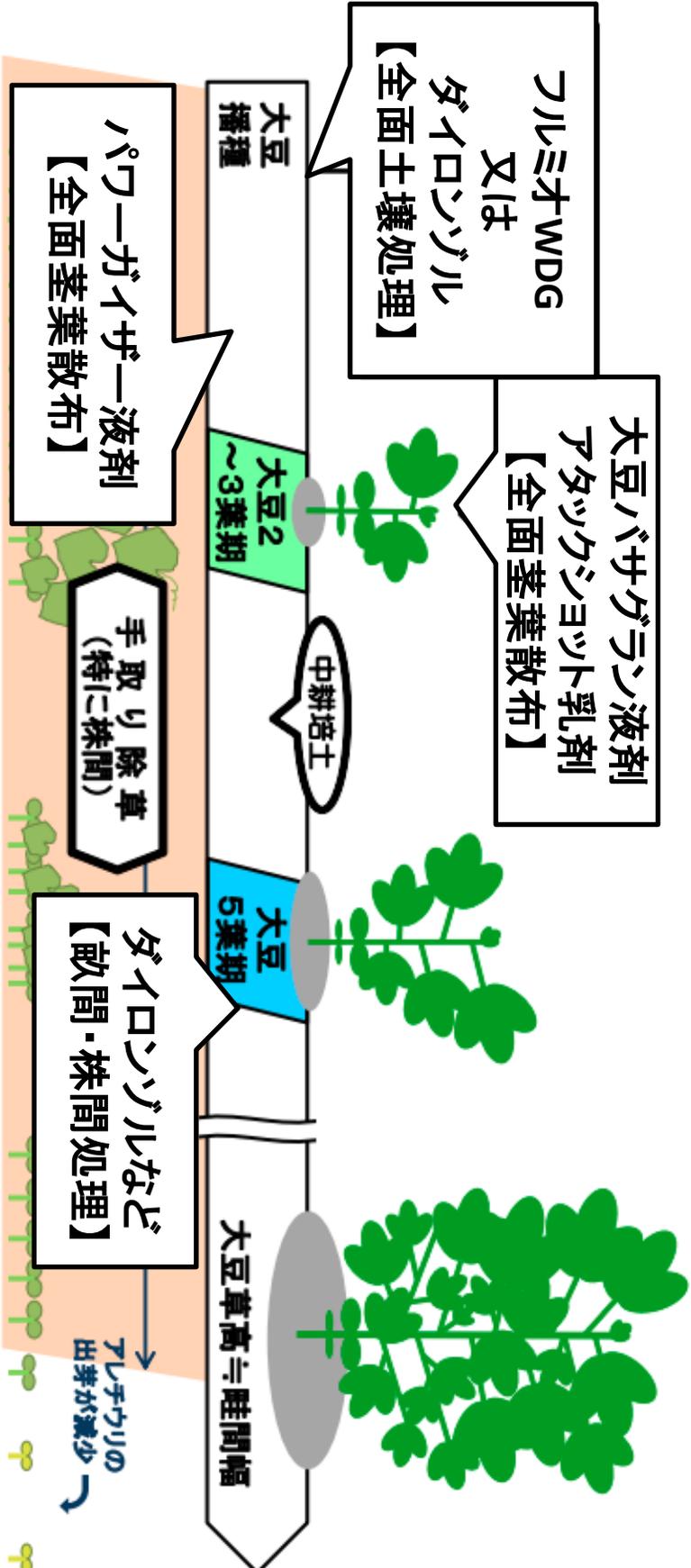
土壌処理型除草剤が散布できなかった! 効果が不十分な場合に有効です。

令和3年7月7日の農薬登録内容を基準に作成しています。農薬散布を行う場合は事前に最新情報で農薬登録を確認の上、使用してください。また、農薬使用の際には飛散防止対策を講じてください。使用回数には薬剤の使用回数を示しています。農薬使用の際には薬剤の使用回数と含有する成分ごとの使用回数に注意してください。

農薬使用に先立ち、ラベルの表示事項を必ず読み、安全使用上の対策等について確認してください。

アシチウリの防除体系

除草剤は使用上の注意をよく読んで、登録内容に従って使用してください。



大豆自体の生育を良好にする

・タンレイ晩播(7月上旬まで)を推奨
(条間75cm, 株間10cm)

・茎葉処理剤は、本葉2～3葉期に頃に処理する

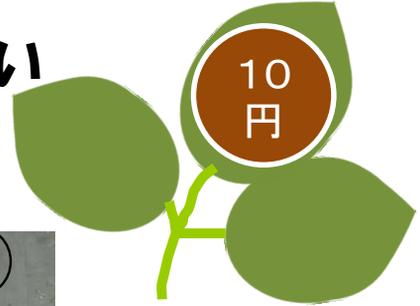
・培土はM字型にならないよう調整する

・フルミオWDG使用後は専用洗浄剤で洗浄する

大豆の葉数の数え方について

○本葉(3枚一組)を数える

真ん中が10円玉より小さい葉は数えない
子葉, 初生葉は数えない
分枝の葉は数えない



写真の場合は4葉期です。

※ 「主茎節数」は、子葉節と初生葉節も数えるので「葉数+2」となり、写真の場合は6節となります。

1か月予報 (7/24~8/23)

仙台管区气象台 7月22日発表

天気は数日の周期で変わり、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

○1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

○週別気温経過の各階級の確率(%)

